

投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 上野 勉 (木戸 徹)	内線	4459 (4465)
------	-----	---------------------	-----------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	約1.6 億円
		通常砂防事業 かしのたに 榎ノ谷川		内用地補償費	約0.05 億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
宍粟郡 波賀町 <small>かしのたに</small> 榎ノ谷			17年度	17年度	19年度
事業目的			事業内容		
土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、流域の荒廃が進んでおり土砂災害の危険性が高まっているため、えん堤工を設置して地域住民の人命、財産及び国道429号を保全する。			・砂防えん堤工 1基 (H = 12.0m , L = 58.0m) [負担割合 国 : 1 / 2、県 : 1 / 2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 安全、安心 地域の活性化 快適性・ゆとり その他	・榎ノ谷川は土石流危険渓流である。 ・溪岸の浸食が進み流域内も荒廃しているが、砂防設備は未整備である。 ・保全対象: 人家 = 19戸、公共施設 = 国道429号、町道、その他 = 工務店、田畑 = 1.20ha ・砂防えん堤工事により土砂災害の危険性が軽減され、地域の主要な道路であり、第二次緊急輸送道路である国道429号を保全することにより、地域間の交流に一層寄与する。 ・えん堤設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより、下流域の住民に安全で快適な生活空間を提供する。 ・地元の土砂災害に対する認識度も高く、事業化への要望が強い。 ・豪雪地帯対策特別指定地域、山村振興指定地域及び過疎対策法対象町に該当し、砂防えん堤工の整備により条件不利地域の安全性向上に寄与する。				
(2)有効性・効率性 有効性 効率性	・人命・財産(人家19戸)に加え、地域の主要幹線道路であり、バス路線でもある国道429号、町道が保全されるため、事業実施による投資効果は大きい。 ・町等の協力体制が整っており、円滑な事業執行が可能である。				
(3)環境適合性	・国道等からの視認性を考慮し、化粧型枠等により周辺景観に配慮する。また、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・土石流の想定被害区域には人家19戸、国道429号、町道がある。 ・流域状況は急峻な地形、脆弱な地質と相まって荒廃が進み、土砂流出の危険性が高く、榎ノ谷地区の人命・財産等を保全するため早急な対策が必要である。				